

令和5年度

全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

令和5年9月

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査について

### 全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 1 調査概要

- |          |                  |     |        |
|----------|------------------|-----|--------|
| (1) 実施日  | 令和5年4月18日(火)     |     |        |
| (2) 調査対象 | 小学校第6学年及び中学校第3学年 |     |        |
| (3) 対象人数 | 小学校              | 21校 | 1,801人 |
|          | 中学校              | 11校 | 1,791人 |

#### 2 調査内容

- (1) 教科に関する調査
  - ・小学校6年生：国語・算数
  - ・中学校3年生：国語・数学・英語
  - ※ 英語「話すこと」調査について、4月20日から4月28日の指定された日にオンラインで実施
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

# 調査結果

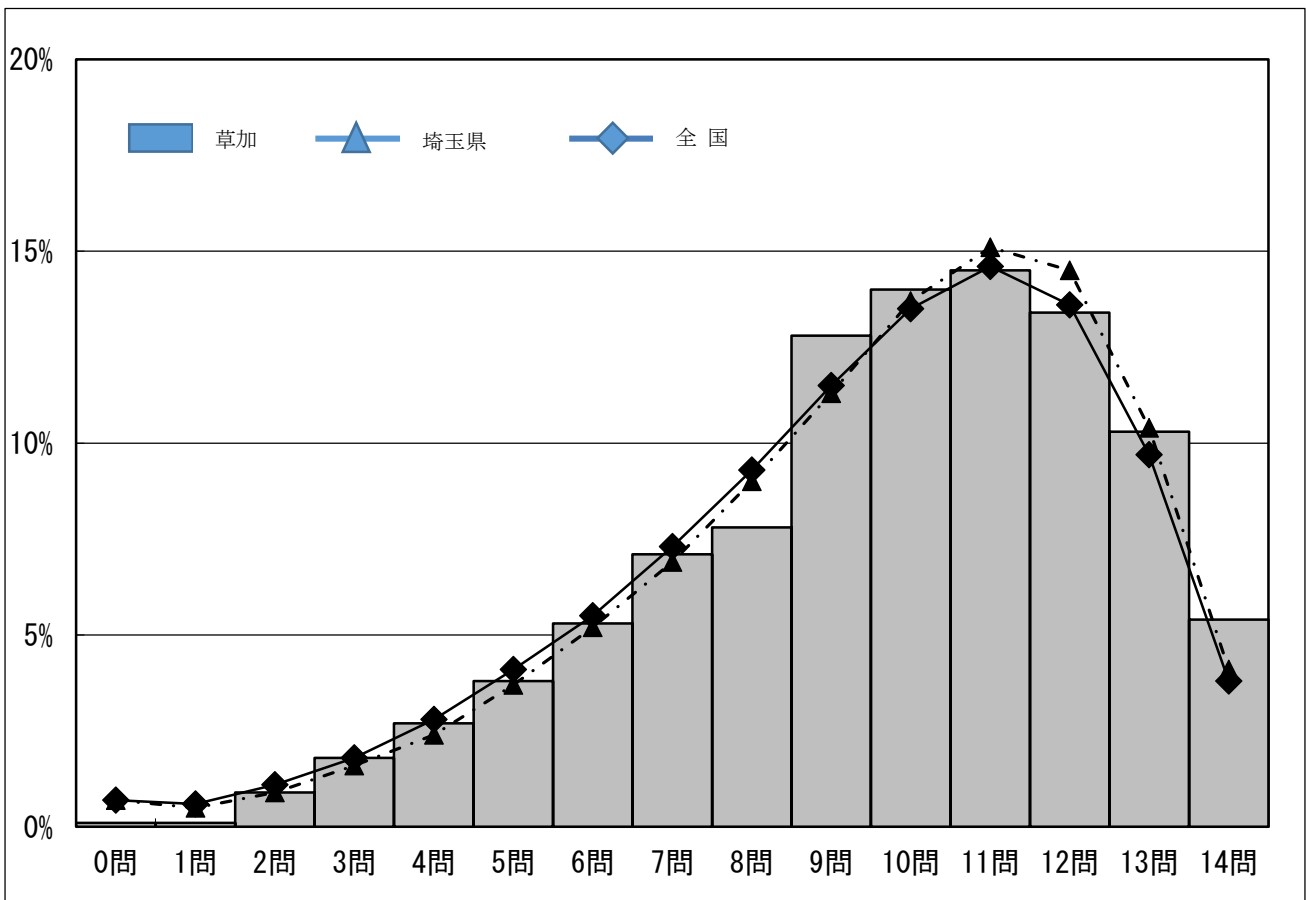
## 1 小学校国語

### (1) 平均正答率の経年変化

【小学校】			
国語	令和4年度	令和5年度	対前回調査比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R5-R4
全国(公立)	65.6	67.2	1.6
埼玉県(公立)	67	68	1
<b>草加市</b>	<b>68</b>	<b>69</b>	<b>1</b>
全国(公立)との差	2.4	1.8	▼ -0.6
埼玉県(公立)との差	1	1	△ 0

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

### (2) 正答数の分布



正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

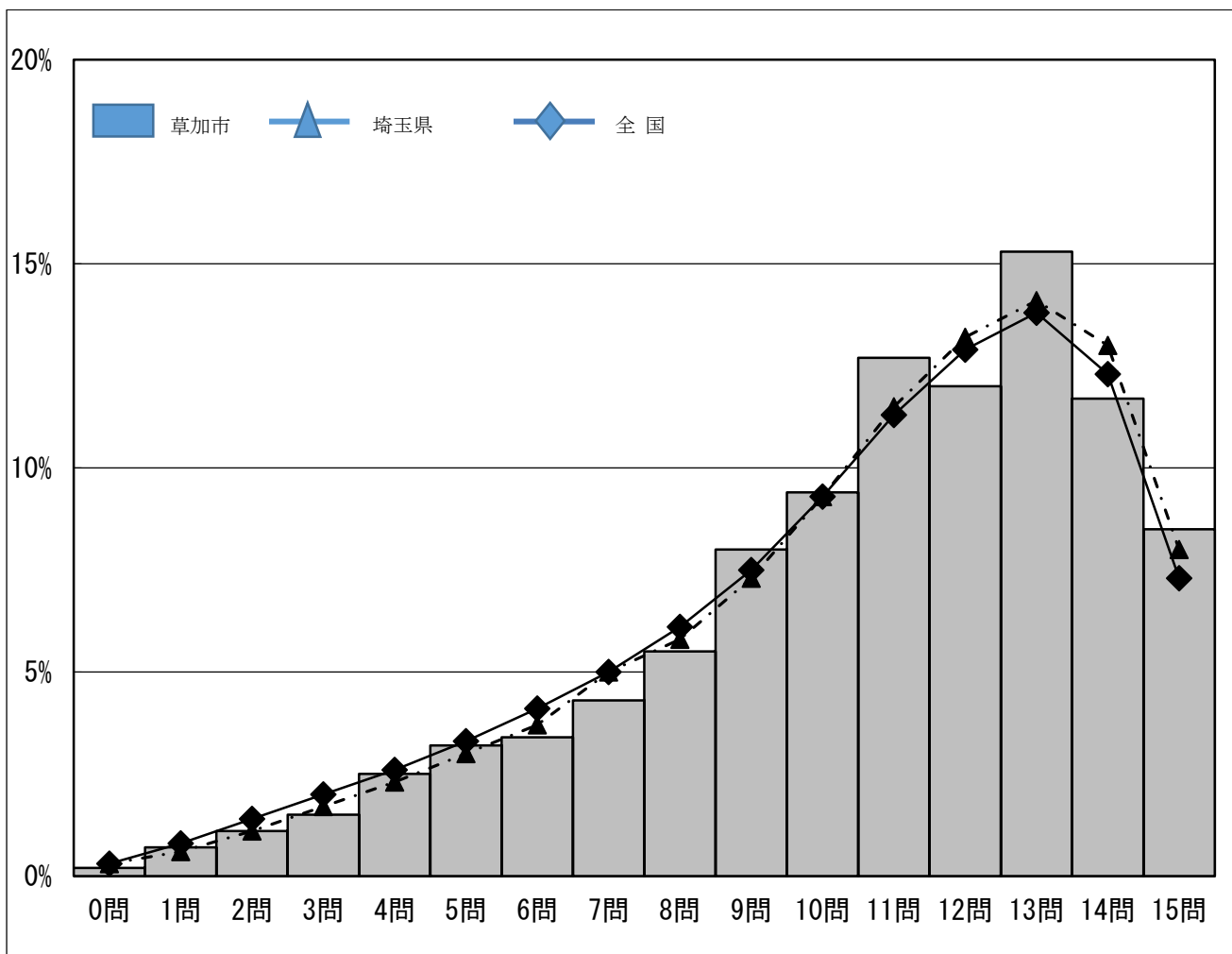
## 2 中学校国語

### (1) 平均正答率の経年変化

【中学校】			
国語	令和4年度	令和5年度	対前回調査比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R5-R4
全国(公立)	69.0	69.8	0.8
埼玉県(公立)	70	71	1
<b>草加市</b>	<b>68</b>	<b>71</b>	<b>3</b>
全国(公立)との差	-1.0	1.2	○ 2.2
埼玉県(公立)との差	-2	0	○ 2

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

### (2) 正答数の分布からみる傾向



正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

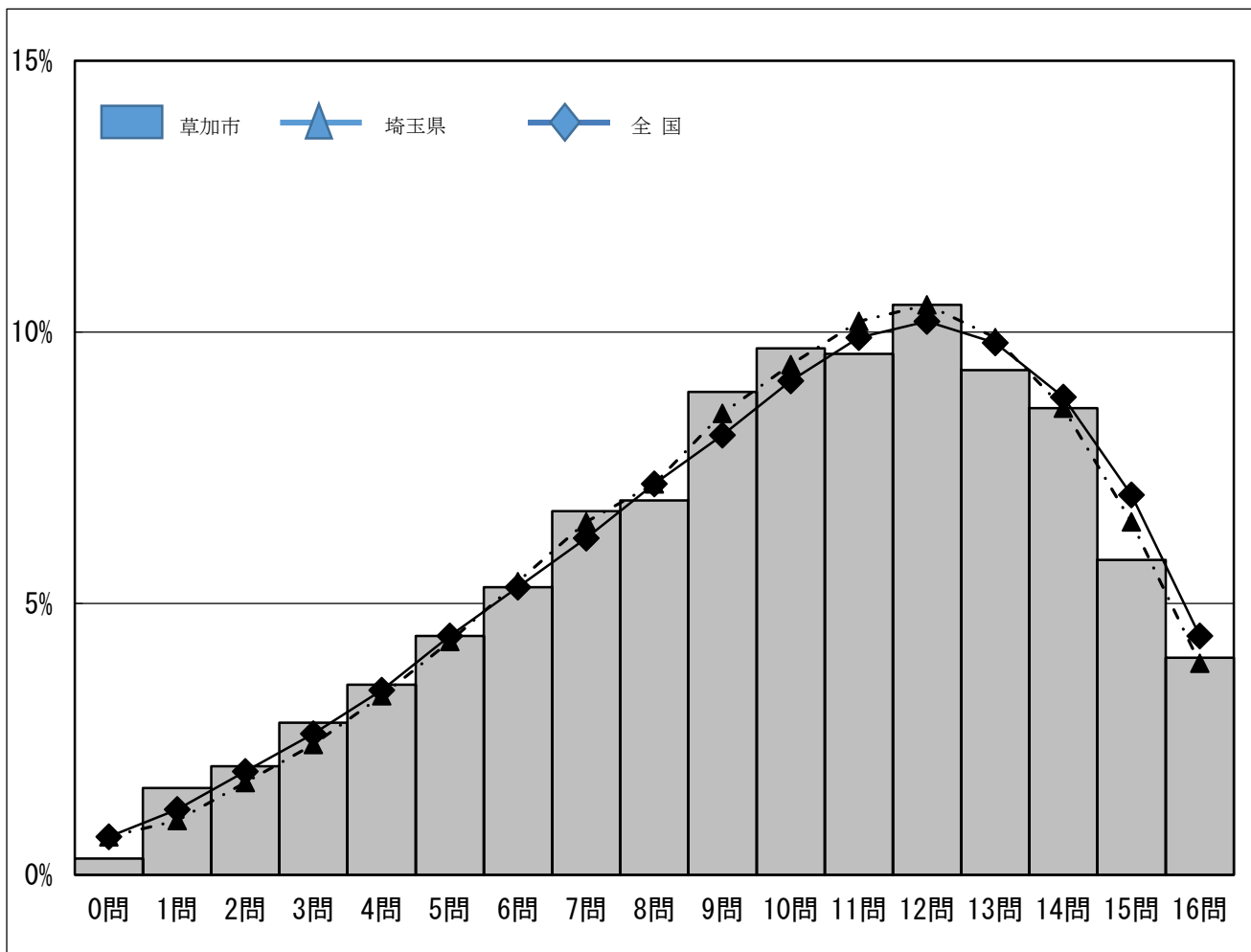
### 3 小学校算数

#### (1) 平均正答率の経年変化

【小学校】			
算数	令和4年度	令和5年度	対前回調査比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R5-R4
全国(公立)	63.2	62.5	-0.7
埼玉県(公立)	64	62	-2
<b>草加市</b>	<b>63</b>	<b>62</b>	<b>-1</b>
全国(公立)との差	-0.2	-0.5	▼ -0.3
埼玉県(公立)との差	-1	0	○ 1

○: 向上した △: 変化なし ▼: 低下した

#### (2) 正答数の分布からみる傾向



正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

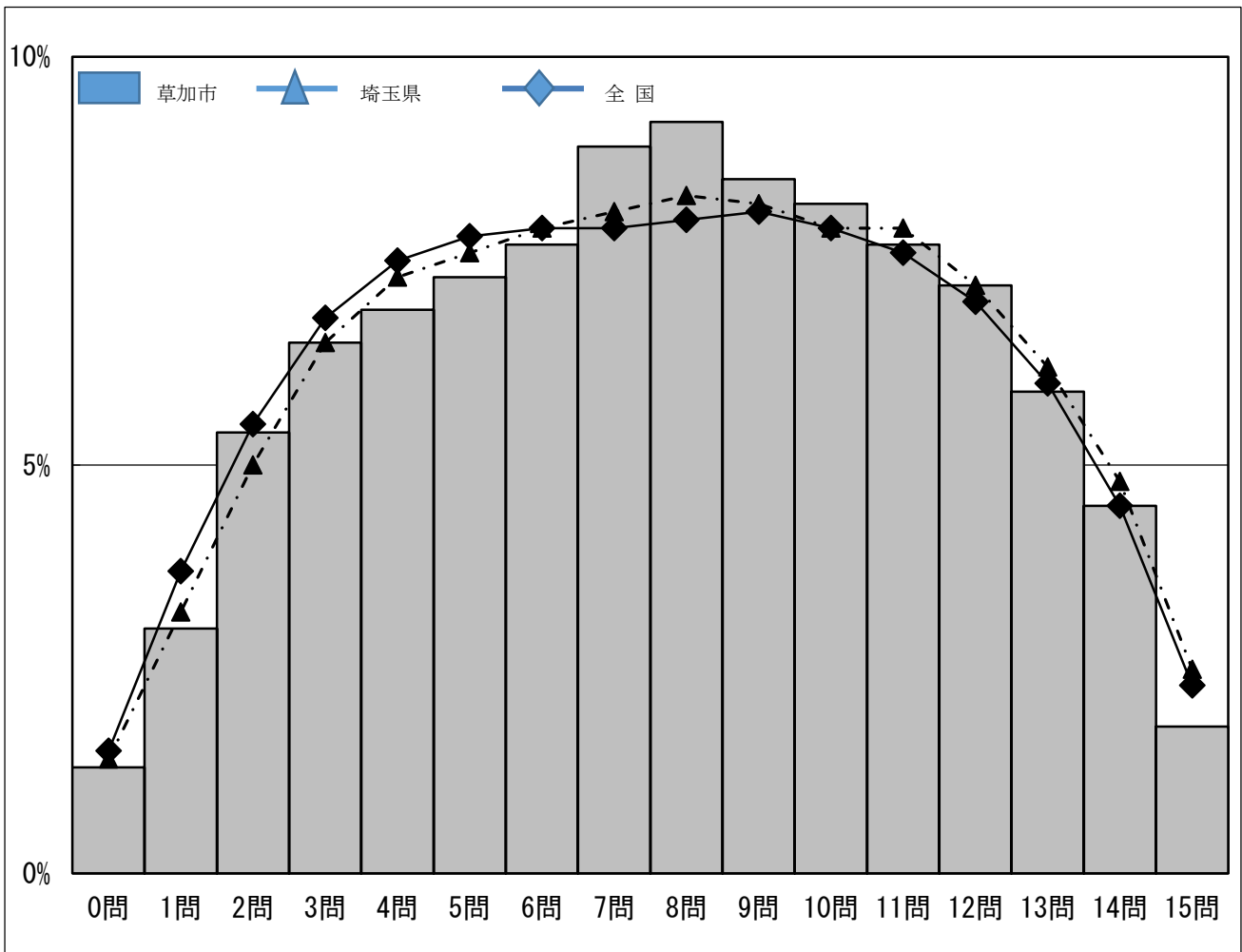
#### 4 中学校数学

##### (1) 平均正答率の経年変化

【中学校】			
数学	令和4年度	令和5年度	対前回調査比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R5-R4
全国(公立)	51.4	51.0	-0.4
埼玉県(公立)	52	52	0
<b>草加市</b>	<b>50</b>	<b>52</b>	<b>2</b>
全国(公立)との差	-1.4	1.0	○ 2.4
埼玉県(公立)との差	-2	0	○ 2

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

##### (2) 正答数の分布からみる傾向



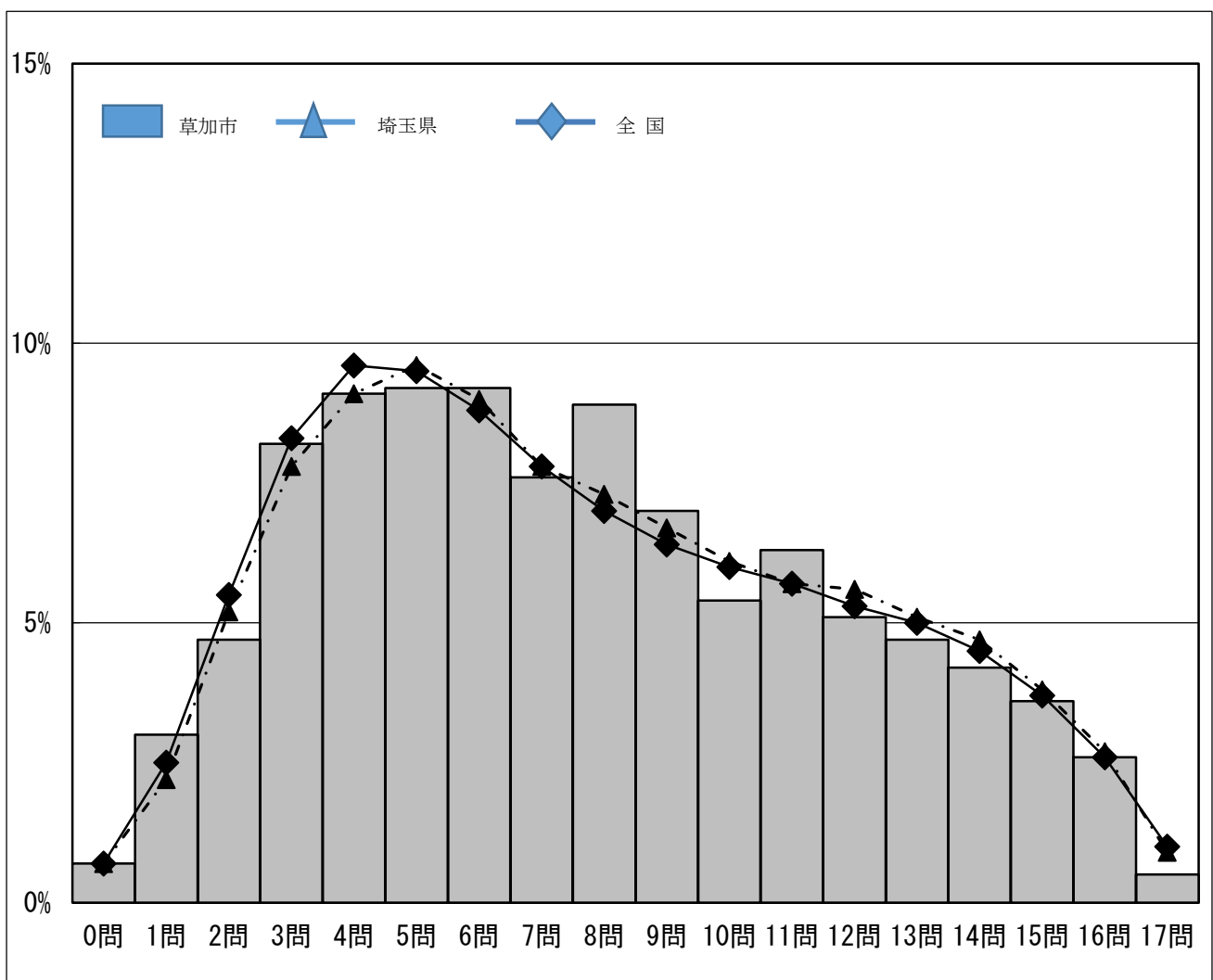
正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

## 5 中学校英語「聞くこと・読むこと・書くこと」

### (1) 平均正答率

【中学校】	
英語	令和5年度
平均正答率(%)	
全国(公立)	45.6
埼玉県(公立)	46
<b>草加市</b>	<b>45</b>
全国(公立)との差	-0.6
埼玉県(公立)との差	-1.0

### (2) 正答数の分布からみる傾向



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)

## 中学校英語「話すこと」

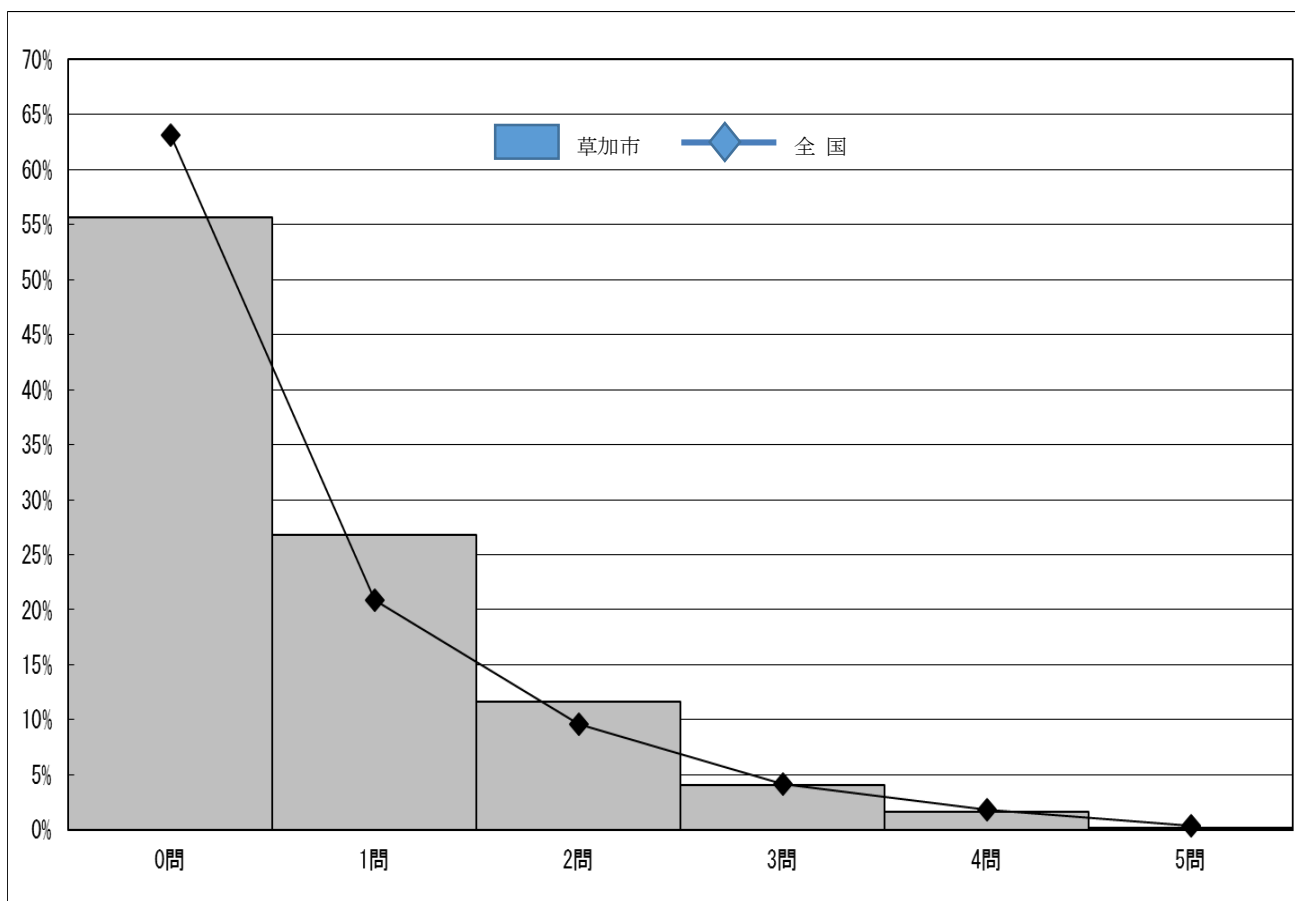
### (1) 平均正答率

英語「話すこと」の結果について、当日実施校の結果から推定される全国値のみを公表することとなっているため、都道府県別の公表は行われておりません。  
 ※草加市は、期間内実施校として実施しております。

#### 【中学校】

英語「話すこと」	令和5年度
	平均正答率(%)
全国(公立)	12.4
埼玉県(公立)	
<b>草加市</b>	<b>14</b>
全国(公立)との差	1.6
埼玉県(公立)との差	

### (2) 正答数の分布からみる傾向



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



## 成果と今後の指導の重点（小学校）

教科	◎全体の傾向 ◇成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	<p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1.8ポイント、県の平均正答率を1ポイント上回った。</p> <p>◎草加市の無解答率は、全国及び県の無解答率よりほとんどの設問で低くなっている。</p> <p>◇目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。</p> <p>◇必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えること。</p> <p>◇目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p> <p>◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>◆複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりすること。</p>
算数	<p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を0.5ポイント下回り、県とは同程度であった。</p> <p>◇伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること。</p> <p>◇正方形の意味や性質について理解していること。</p> <p>◇二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができること。</p> <p>◆伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いる場面などにおいて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさの求め方を説明することができること。</p> <p>◆正三角形の意味や性質について理解していること。</p> <p>◆具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができること。</p>

## 成果と今後の指導の重点（中学校）

教科	◎全体の傾向 ◇成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	<p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1.2ポイント上回り、県の平均正答率とは同程度であった。</p> <p>◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができること。</p> <p>◇歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができること。</p> <p>◇古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができること。</p> <p>◆字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を身に付けること。</p> <p>◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。</p>
数学	<p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1ポイント上回り、県とは同程度であった。</p> <p>◇数と整式の乗法の計算ができること。</p> <p>◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができること。</p> <p>◆自然数の意味を理解していること。</p> <p>◆事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄について予想したことを説明することができること。</p>
英語	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「聞くこと」「読むこと」「書くこと」</p> <p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を0.6ポイント下回り、県の平均正答率を1ポイント下回った。</p> <p>◇日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができること。</p> <p>◇「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができること。</p> <p>◆社会的な話題など、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動に取り組むこと。</p> <p>◆日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができること。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「話すこと」</p> <p>◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1.6ポイント上回った。</p> <p>◎草加市の無解答率は、全国の無解答率より全ての設問で低くなっている。</p> <p>◇日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができること。</p> <p>◆社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができること。</p> <p>※◆について、生徒質問紙調査では、「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」の質問事項に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計が、88.7ポイント（全国78.7ポイント）と肯定的な回答の割合が多い。スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を継続して授業に取り入れていくことが重要である。</p>

## 質問紙調査からの分析

### 1 草加っ子の基礎・基本に関する質問紙調査

<p>「知」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」と「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともに全国平均及び県平均は下回っているが、令和4年度と比較すると向上している。</li> <li>○ 「学校の授業時間以外に読書をしている時間（1日当たり10分以上）」について、小学校は、令和4年度と比較すると向上している。</li> <li>○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、特に小学校において、令和4年度と比較すると低下している。</li> </ul>
<p>「徳」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分には、よいところがあると思う」について、令和4年度と比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともに高くなっている。これは、昨年度の結果も同様であったため、継続して向上している。</li> <li>○ 「将来の夢や目標を持っている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小学校は、令和4年度と比較すると向上している。</li> <li>○ 「人が困っているときは、進んで助けている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、令和4年度と比較すると向上している。</li> <li>○ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、中学校では県平均を上回っているものの、小中学校ともに令和4年度と比較すると低下している。</li> </ul>
<p>「体」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、県平均を上回っている部分はあるものの、小中学校ともに令和4年度と比較すると低下している。</li> </ul>